

I-O DATA
グリーン調達基準書
Rev.11.0

2001年7月1日初版
2023年5月8日改訂

株式会社アイ・オー・データ機器

目次

1. 目的	2
2. グリーン調達基準の適用範囲	2
3. 評価の高いお取引先様からの優先購入について.....	2
4. 調査方法について.....	2
5. 調査内容について.....	3
(1) 環境保全活動の実施状況	3
(2) 化学物質管理の状況.....	3
6. 化学物質の調査基準	3
(1) 目的	3
(2) 定義	3
(3) 調査対象化学物質と閾値レベル.....	3
7. 機密保持	4
8. グリーン調達基準書に関する窓口	4

参考 1 新規購入先選定チェックシート又は購入先調査シートの例

参考 2 chemSHERPA-AI(作成支援)ツール

1. 目的

(株) アイ・オー・データ機器は、より安全で環境にやさしい製品・部品を優先的に調達するために、お取引先様の自主的な環境保全活動の実施状況、製品や工程における環境負荷物質の不使用・削減状況などを調査し、評価させて頂き、評価の高いお取引先様からの購入を優先することでグリーン調達活動を推進致します。

2. グリーン調達基準の適用範囲

本基準書は弊社製品と製品を構成する部品を直接及び弊社の子会社・関連会社を通じて購入させて頂くお取引様に適用致します。

適用範囲は以下です。(以降、納入品とします。)

- ・ 弊社に納入頂く製品 (取扱説明書等の印刷物及び包装材含む)
- ・ 弊社に納入頂く部品・材料
- ・ 副資材等

※製品輸送用の梱包材や設備什器関係及び文具等の事務用品の購入においては適用除外とします。

3. 評価の高いお取引先様からの優先購入について

お取引様の環境保全活動の実施状況及び化学物質管理状況が、弊社のグリーン調達基準を満足していない場合は購入自体を再検討し、充分満足しているお取引先様からの購入を優先させて頂きます。

4. 調査方法について

本基準書に関する調査は、下記のように実施します。

調査対象	目的	調査票
取引先	環境負荷の少ない企業からの購入を優先するため	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規購入先選定チェックシート又は購入先調査シート ・ 製品含有化学物質の使用／不使用宣言書 (別紙 1) ・ 製造工程でのオゾン層破壊物質・温室効果ガスの不使用証明書 (別紙 2)
納入品 (製品・部品・法造材等)	弊社基準に合致した製品・部品・包装材の採用を推進するため	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製品含有化学物質の使用／不使用宣言書 (別紙 1) ・ 製造工程でのオゾン層破壊物質・温室効果ガスの不使用証明書 (別紙 2) ・ RoHS 自己宣言書 (別紙 3) ・ chemSHERPA (参考 2) ・ 包装材の採用基準に関する自己宣言書 (別紙 4)

なお、調査票は弊社ホームページに掲載しておりますのでご利用ください。

グリーン調達[お取引先様へ]

<http://www.iodata.jp/company/environment/procurement/index.htm>

5. 調査内容について

(1) 環境保全活動の実施状況

環境保全活動への取り組みについて『新規購入先選定チェックシート』又は『購入先調査シート』にて調査させていただきます。主な調査項目は以下となります。

- ・ ISO14001 の認証を取得しているか。
- ・ 環境保全に関する活動が行われているか。（環境方針、活動状況等）

(2) 化学物質管理の状況

- ① 納入品に対して、弊社指定の使用禁止化学物質及び使用管理化学物質の使用状況を調査させていただきます。調査については、別紙1『製品含有化学物質の使用／不使用宣言書』および別紙2『製造工程でのオゾン層破壊物質・温室効果ガスの不使用証明書』にて行いますのでご協力をお願い致します。
- ② 採用製品・部品に対して、欧州 RoHS に適合していることを確認させていただきます。別紙3『RoHS 自己宣言書』の提出をお願い致します。また、必要に応じ『chemSHERPA(作成支援) ツールで作成された shai ファイル若しくは shci ファイル』、分析評価結果等の提出をお願いする場合があります。
- ③ 包装材に対して、追加調査として別紙4『包装材の採用基準に関する自己宣言書』を提出してください。

6. 化学物質の調査基準

(1) 目的

全ての納入品を対象として、国際規格「電気・電子業界及びその製品に関するマテリアルデクラレーション (IEC62474)」に基づいた化学物質の含有調査、評価を行うことにより効率の良い調査を行うことを目的とします。

(2) 定義

- ・ 使用禁止化学物質

対象製品・部品及び包装材への含有が禁止される物質。国内外での法規制で使用が禁止又は制限されている物質です。

- ・ 使用管理化学物質

対象製品・部品及び包装材への含有有無、用途、及び濃度等の把握を必要とする物質。削減・代替の検討を必要とする物質です。

(3) 調査対象化学物質と閾値レベル

調査対象の化学物質は別紙1『製品含有化学物質の使用／不使用宣言書』に規定されている物質です。対象化学物質は、IEC62474 で示された物質(群)に準拠しています。物質群に含まれる例示

物質や用語・定義は、IEC62474 を参照してください。

7. 機密保持

入手した内容は、グリーン調達関連以外の目的には利用いたしません。また弊社内でのみ使用し、外部に公表することはありません。

8. グリーン調達基準書に関する窓口

- ・ 取引先評価関連 : 生産購買部
- ・ 製品・部品評価関連 : 企画開発部
- ・ 本基準書等制度全般 : 生産購買部

参考 1) 新規購入先選定チェックシート又は購入先調査シートの例
 新規購入先選定チェックシートからの抜粋

品質保証関連	
1) 品質ISO9001	取得(取得日: 年 月) 、未取得 *予定有り(予定日: 年 月)
2) 品質目標、方針を記入下さい。	_____ _____ _____ _____ _____
3) 品質保証体系	有(別紙③に記入して下さい) 、 無
4) 品質保証部門が技術、製造部門から独立していますか。	はい、いいえ
5) 貴社の品質管理責任者	氏名 _____ 役職名 _____
6) 品質保証に関する認証番号の有無、その内容及び今後の取得予定(ISO9001を除く)	_____ _____ _____ _____ _____
環境保全関連	
1) 環境に関する認証番号の有無、その内容及び今後の取得予定	有 認証番号: _____ 無 取得予定番号: _____ 取得予定日: 年 月
2) 環境方針、目的、目標、活動状況を記入下さい。(別紙添付でも可)	_____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____
3) 貴社の環境管理責任者	氏名 _____ 役職名 _____
4) その他	・ 法が要求などで禁止されている化学物質を含まないことを保証できますか。 はい/いいえ ・ 保証できる場合は別紙④「使用禁止化学物質の不使用証明書」を提出下さい。

参考 2) chemSHERPA-AI(作成支援)ツール <イメージ>

回答は chemSHERPA-AI(作成支援)ツールにて作成した shai ファイルにてお願いします。

The screenshot displays the chemSHERPA-AI software interface, which is used for creating and managing product data. It is divided into several main sections:

- 基本情報画面 (Basic Information Screen):** Contains fields for '発行者・承認者情報' (Issuer/Approver Information) and '依頼者情報' (Requester Information). Fields include '整理番号' (Organization Number), '作成日' (Creation Date), '承認日' (Approval Date), '伝達事項' (Transmission Items), '依頼日' (Request Date), and '回答期限' (Response Deadline). There are also checkboxes for '成分情報' (Component Information) and '違法判断情報' (Illegality Judgment Information).
- 製品・部品情報 (Product/Component Information):** A table with columns for '成分' (Component), '違法' (Illegality), '製品名' (Product Name), '製品品番' (Product Part Number), 'メーカー名' (Manufacturer Name), '質量' (Mass), '質量単位' (Mass Unit), and 'シリーズ品名' (Series Product Name). A red circle highlights the '表示' (Display) buttons for each component row.
- 成分情報画面 (Component Information Screen):** A detailed table listing components with columns for '名称' (Name), '異数' (Stoichiometric Coefficient), '用途' (Use), '分類記号' (Classification Code), '名称' (Name), '質量' (Mass), '単位' (Unit), and '公称規格' (Nominal Specification). A red arrow points from the '表示' button in the previous screen to this table.
- 違法判断情報画面 (Illegality Judgment Information Screen):** A table for legal compliance with columns for 'CAS番号/物質群ID' (CAS Number/Substance Group ID), '物質/物質群' (Substance/Substance Group), '判定対象' (Judgment Target), 'ID', '参照法規' (Reference Regulation), and '種別' (Category). A red arrow points from the '表示' button in the component table to this screen.

グリーン調達基準書 改訂履歴

版数	改訂日	改訂内容
Rev1.0	2001/07/01	初版制定 グリーン購入の開始
Rev2.0	2002/09/02	部分改訂 取引先の化学物質調査への対応の為、調査対象物質の追加
Rev3.0	2004/07/01	全面改訂 海外法規制・国内取引先への対応を強化する為、製品の化学物質含有・製造工程での使用に関する基準の設定 化学物質含有管理の可能な購入先からの優先購入基準の設定など
Rev4.0	2005/07/22	部分改訂 環境方針 2005 年 7 月度版に変更
Rev5.0	2006/11/01	全面改訂 発行責任者の変更、購入先調査票及びその運用方法変更。日本語版のみ本基準書のタイトル変更 (Rev5.0 グリーン調達基準書。Rev4.0 以前 グリーン購入基準書)
Rev5.1	2007/09/05	部分改訂 発行責任者の変更、第 4 章「取説・保証書類」の採用基準を変更、付属資料「参考」に注意事項を追加、付属資料「別紙 1 ～ 7」を改版
Rev6.0	2008/10/9	全面改訂 発行責任者に開発本部長を追加。JIG101A/JGPSSI tool v3.34 対応のため、調査対象化学物質レベル A に PCT 類を追加、カドミウムの閾値を 75ppm から 100ppm へ変更。第 4 章 包装材・印刷物に関する採用基準を見直し。別紙 4 ～ 7「包装材・印刷物に関する自己宣言書」を改版。別紙 8「製造工程でのオゾン層破壊物質の不使用証明書」を追加。
Rev7.0	2010/11/30	全面改訂 発行責任者変更 環境方針変更 【3】調査方法について 調査票に本基準書の関連書類追記 【4】調査内容に採用製品・部品に関して弊社から依頼があった際、関連する書類の提出を追記 【5】採用製品・部品の調査と要求事項 ③について、PFOS の規制に関する化審法の改正が 2009/11 月に施行見込みから 2010/4 月施行に変更
Rev8.0	2011/08/04	全面改訂 第 3 章有害化学物質の調査基準を国内外の法規制から JIG に変更。禁止物質・管理物質の用語定義追加。 別紙 3「RoHS 対応自己宣言書」改版。 包装材・印刷物の採用基準変更（再生紙または森林認証紙の利用、環境に配慮した印刷インキについて、採用基準から推奨事項に変更）に伴い、別紙 4「包装材・印刷物の採用基準に関する自己宣言書」を改版。
Rev9.0	2012/10/01	部分改訂 発行責任者、グリーン調達基準書に関する窓口の変更、 第 3 章.有害化学物質の調査基準の採用製品・部品の調査方法の標準を RoHS 対応自己宣言書に変更。また、JGPSSI が発展的解消になったため JGPSSI 様式削除。それに伴い付属資料の別紙番号採番しなおし。
Rev10.0	2013/10/01	部分改訂 環境方針改定。 発行責任者、グリーン調達基準書に関する窓口の変更。 第 3 章 JIG が国際規格 IEC62474 として発行したことを受け参照する管理基準を変更。 第 4 章 【3】採用基準から「2)有機ハロゲン化合物の使用禁止」を【4】推奨へ変更 別紙 1「製品含有化学物質の使用／不使用宣言書」改版。 別紙 2「製造工程でのオゾン層破壊物質の不使用証明書」改版

		別紙3「RoHS 対応自己宣言書」改版。 別紙4「包装材・印刷物の採用基準に関する自己宣言書」改版。
Rev10.1	2014/05/08	部分改訂 別紙1：「製品含有化学物質の使用／不使用宣言書」改版。
Rev10.2	2016/09/07	部分改訂 グリーン調達基準書に関する窓口の変更（開発部 ⇒ 企画開発部）。 別紙1：「製品含有化学物質の使用／不使用宣言書」改版。 別紙3：「RoHS 自己宣言書」改版。
Rev10.3	2018/5/23	部分改訂 ・ 発行責任者の変更 ・ 第3章【6】提出書類及びデータ JAMP AIS 入力支援ツールの更新終了に伴い、chemSHERPA(作成支援)ツールに変更 ・ 化審法改正(SCCP/PBDE 禁止)の為、別紙1：「製品含有化学物質の使用/不使用宣言書」改版 ・ キガリ改正の為、別紙2：「製造工程でのオゾン層破壊物質の不使用証明書」改版 ・ 参考2：JAMP AIS 入力支援ツールから chemSHERPA(作成支援)ツールに変更
Rev10.4	2019/11/1	全面改訂 ・ 発行責任者の変更 ・ 第3章【2】使用禁止化学物質・使用管理化学物質の用語定義変更。 ・ 第3章【3】調査対象化学物質と閾値レベルの見直し ・ 第3章【4】【5】【6】第2章の内容と重複しているため削除 ・ 第4章 第2章の内容と重複しているため削除 ・ 別紙1：「製品含有化学物質の使用/不使用宣言書」改版 ・ 別紙2：「製造工程でのオゾン層破壊物質・温室効果ガスの不使用証明書」改版
Rev10.5	2020/11/24	部分改訂 環境方針改定
Rev11	2023/5/8	部分改訂 文書体裁見直し 添付資料 別紙1「製品含有化学物質の使用／不使用宣言書」改版

進化する明日へ Continue thinking

I-O DATA